



展示場へ行くこう!

4F

太陽コーナーの新展示

科学館の展示場4Fにあった太陽に関する展示が更新され、新しい展示コーナーとなりました。今まで「太陽風と地球磁気圏」「変動する太陽」のタイトルだったところで、宇宙天気予報や黒点スケッチなどがあった場所です。

ここは長い間、同じ展示だったのですが、今回の更新で、太陽を中心に、最新の天文学がとらえた太陽の姿と、太陽が私たちの生活に及ぼす影響について紹介するコーナーになりました。大きく分けて、次の3つの展示があります。

太陽の姿

50インチの大型モニターを使って、主に太陽観測衛星「ひので」がとらえた最新の太陽の姿を解説しています。

「ひので」は2006年に打ち上げられた太陽観測のための人工衛星です。地上では見ることのできない、今までにない高い解像度で太陽の姿をとらえています。

この詳細な太陽の姿を、大型モニターによってご覧いただくことができます。



太陽の姿

宇宙から見た地球

直径1mの大型半球スクリーンに、宇宙から見た地球の姿を表示しています。表示されている地球は、ジョイスティックを使用して上下左右に回転させることができ、いろいろな方向から見るることができます。

この展示では、アメリカIMAGE衛星による宇宙から見たオーロラの様子を表示しています。地球儀を回すように様々な角度から見ることによって、オーロラが地球上のどの場所で発生しているのか、より分かりやすくご覧いただくことができます。



宇宙から見た地球

表示するコンテンツは、京都大学大学院理学研究科の地球科学総合部可視化グループが中心になって進めている4次元デジタル地球儀「Dagik Earth」から利用させていただいています。現在はオーロラの発生している様子を表示していますが、気象衛星のとらえた日本に近づく台風の様子や、地球だけでない他の惑星の様子など、さまざまなコンテンツがあるので、展示の内容も随時更新していきたいと思っています。

太陽と私たちの地球

太陽が私たちの地球に及ぼす影響として、オーロラと気象現象をとりあげて解説しています。

オーロラは、太陽からやってくる太陽風と呼ばれる高エネルギー粒子がその発生の原因です。ここでは解説パネルの他、以前にもあったオーロラ発生装置を新展示の中に組み込んで、オーロラ発生の仕組みを解説しています。

また、気象に関する展示コーナーも登場しました。科学館屋上に全天カメラを設置しており、現在の科学館上空の天気を知ることができます。さらに、気温、気圧の観測状況も表示しています。このカメラの映像は、インターネットでも試験的に公開しています。

<http://www.sci-museum.kita.osaka.jp/~egoshi/skypot/skypot.html>

(アドレスは今後変更することがあります)

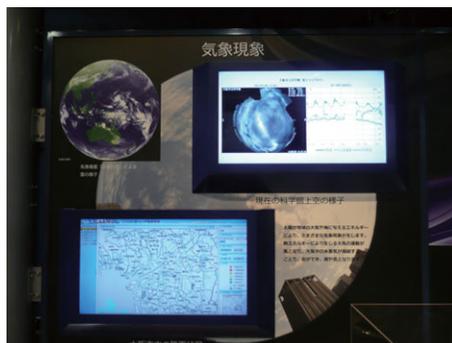
さらに国土交通省さんの協力で、XバンドMPLレーダーによる大阪近郊の雨量情報も表示しています。気象レーダーによって、周辺の雨の状況を知ることができます。科学館上空の天候と比較することで、より広い大気の流れの中から気象現象を理解していただきたいと思っています。

展示コーナーには、気象台からいただいた、実際に観測に使用されていた雨量計と風向風速計も展示しています。普段天気予報で見ている雨や風の状況が、どのような観測機器で測定されたのか、実物を見ることができます。

今回の更新では、最新の科学の知見と新しい機器を取り入れて、より興味を持って太陽と私たちの地球について考えていただくコーナーを目指しました。

また、太陽コーナー以外にも、新しい展示が登場しています。科学館に来られた際は、ぜひ展示場にもご注目下さい。

江越 航(科学館学芸員)



気象コーナー